

リレートーク【2】

広島センター（広島職業能力開発促進センター）

末永 聖平

祝!! 世界遺産登録

ポリテクセンター八幡の藤田くんから受け継ぎました。広島センターの末永です。紹介していただいた藤田くんとは大学時代の同期で、長い付き合いになります。大学に入ってから知り合い、地元が近かったこともあり大学4年間よく語り合いました。

私は旅行が大好きで、暇ができると温泉などによく行きます。転勤で広島に来て2年ほどになりますが、いろんな場所を訪れました。

その中で、私が現在いる広島からも身近で旬なスポットを紹介したいと思います。それは、島根県太田市にある「石見銀山」です。広島から車で3時間弱の場所です。ここでは、2007年6月28日に日本で14番目の世界遺産に登録されました。正式名称は、「石見銀山遺跡とその文化的景観」、日本としては初めての産業遺跡だそうです。戦国時代頃から銀の採掘が始められ、昭和の初期まで行われていた遺跡で、その町並みも残されています。この地の銀はその昔、世界中に流通していました。

ここでは、およそ2キロの町並みや風景を楽しみ、最後に採掘のために掘られた龍源寺間歩は実際に通り抜けることもできます。掘られた穴のことは間歩（まぶ）と呼ばれています。

私は、世界遺産登録されるよりも前に何度か訪れていました。この場所は、ほんとにいい意味でゆっくりと時間が流れているような感じになれる場所で、白壁や昔ながらの木造りの家などが建ち並び、いつもの都会の喧騒を忘れることができるような気持ちになれます。

最後に待ち受ける龍源寺間歩は、狭いところでは高さが150センチほどしかなく頭が当たりそうです。長さは273メートルもあり、とても人の力で掘り進んだとは思えない感じを受けずにはいられません。この間歩からは、さらにたくさんの小さな横穴があり人がやっと通れるかどうかのものもいくつかあり、昔の人のすごさに脱帽です。



世界遺産は、銀山だけでなくその周辺にも及んでおり、世界史上初めて世界遺産に指定された温泉地にもなった、私の大好きな温泉地も含まれています。それが「温泉津（ゆのつ）温泉」です。ここもまた古い町並みを残し、いい風情があります。そして、忘れてはならないのは温泉ですが、日本温泉協会から最高評価の「オール5」を受けた共同浴場があり、よく利用しています。お世辞にも広さはないのですが、温泉独特のにおいに癒されます。温泉から上がると町並みを歩き沖泊（おきどまり）という海岸まで出ることができます。ここから世界に銀が出ていったのかと思うと、ロマンを感じます。それ以外にもこの周辺には、たくさんの温泉地があるので温泉めぐりをしてもし楽しいかもしれません。

ご紹介した以外にもたくさん見所があるので、ぜひ、皆さんも機会があれば、新しい世界遺産に訪れてみてはいかがでしょうか？

次回のリレートークは、鹿児島県立鹿屋高等技術専門校の篠原くんです。彼も大学時代の同期で、長い付き合いになります。サークルなどの活動を通して親しくなり、それ以来の仲です。それでは、よろしくお願ひします。